

MoneyOneリリース情報 2019年2月

2019年2月19日
FutureOne株式会社

1. **仕訳の貸借反転機能算**
仕訳作成時、貸借を反転するボタンを追加します。
2. **検索画面の科目コード指定対応**
科目検索において、コード指定を可能にします。
3. **総勘定元帳（画面）各種出力項目のボタン追加**
総勘定元帳（画面）で、各種出力項目の「前へ《 」「次へ 》」
ボタンを追加します。
4. **月次棚卸対応**
月次棚卸に対応した期首期末たな卸高の表記をします。

1. 仕訳の貸借反転機能

内容

仕訳作成時、貸借を反転するボタンを追加します。
【対応機能】仕訳伝票入力、決算仕訳伝票入力

「貸借反転」ボタンを追加します。
反転したい明細を選択し、
「反転」ボタンを押下すると貸借が反転します。

貸借反転

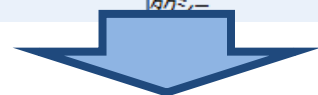
仕訳伝票 2017年1月～12月

伝票日付(通常) 伝票No. 証憑/伝番

2018/11/06

表示 検索条件 実行 移動→ 伝票▲ 伝票▼ 付箋▲ 付箋▼ 追加 修正 参照 通常/決算 複製

借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
借方摘要				貸方摘要			
取引先		税区分	消費税	取引先		税区分	消費税
売掛金	A A A 株式会社	部門 A		売上高	その他	部門 A	
貸借反転テスト 借方			90,000	貸借反転テスト 貸方			80,000
タクシー						売内8	(5,926)
普通預金	MUFG大阪			買掛金	その他	部門 A	
貸借反転テスト 借方			5,000	貸借反転テスト 貸方			15,000
				タクシー			



仕訳伝票 2017年1月～12月

伝票日付(通常) 伝票No. 証憑/伝番

2018/11/06

表示 検索条件 実行 移動→ 伝票▲ 伝票▼ 付箋▲ 付箋▼ 追加 修正 参照 通常/決算 複製

借方科目	補助科目	部門	借方金額	貸方科目	補助科目	部門	貸方金額
借方摘要				貸方摘要			
取引先		税区分	消費税	取引先		税区分	消費税
売上高	その他	部門 A		売掛金	A A A 株式会社	部門 A	
貸借反転テスト 貸方			80,000	貸借反転テスト 借方			90,000
		売内8	(5,926)	タクシー			
普通預金	MUFG大阪			買掛金	その他	部門 A	
貸借反転テスト 借方			5,000	貸借反転テスト 貸方			15,000
				タクシー			

貸借反転

※画面はイメージのため、
実際のものとは異なる場合があります。

2. 検索画面の科目コード指定対応

内容

科目検索において、コード指定を可能にします。

【対応機能】仕訳日記帳、簡易総勘定元帳、簡易補助元帳、総勘定元帳、
補助元帳、簡易仕訳日記帳、取引先別元帳

タイプ : A

科目 / 補助科目

- 全科目
- 流動資産
- 固定資産
- 繰延資産
- 諸口
- 流動負債
- 固定負債
- 株主資本
- 売上高
- 売上原価
- 販売管理費
- 営業外損益
- 特別損益



タイプ : B

相手科目 / 補助科目

(単一科目)

- 全科目
- 流動資産
- 固定資産
- 繰延資産
- 諸口
- 流動負債
- 固定負債
- 株主資本
- 売上高
- 売上原価
- 販売管理費
- 営業外損益
- 特別損益

検索画面の科目検索において、
コード指定を可能にします。

※画面はイメージのため、
実際のものとは異なる場合があります。

3. 総勘定元帳（画面）各種出力項目のボタン追加

内容

総勘定元帳（画面）で、各種出力項目の「前へ《」「次へ》」ボタンを追加します。

【対応機能】総勘定元帳（画面）、出納帳入力（摘要）、出納帳入力（科目）
現金出納帳入力、預金出納帳入力

各種出力項目について、
「《」ボタンで、前の項目へ
「》」ボタンで、次の項目へ
絞り込み条件を変更することができます。

ファイル (F) 編集 (E) 移動 (I) 設定 (S) ヘルプ (H)

総勘定元帳

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	通期	1	2	3	4													
日付範囲												《	科目	》	《	補助科目	》	《	部門	》	《	取引先	》	詳細	表示	修正	追加	伝票 日付順	付箋▲ 付箋▼
2011/01/01		~	2011/12/31		現金						鮮魚部門(新潟)																		
日付	伝票番号	補助科目 自摘要	部門	相手科目	補助科目	部門	相手摘要	取引先	税区分	借方金額	繰越金額																		
2011/01/01	65	預金預け入れ	鮮魚部門(新潟)	普通預金①	普 15024	鮮魚部門(新潟)	預金預け入れ																						
2011/01/01	432	ABCからの仕入れ	鮮魚部門(新潟)	仕入高		鮮魚部門(新潟)	ABCからの仕入れ			2,000	921,001																		
									※仕課内5																				
2011/01/01	450	1月2月	鮮魚部門(新潟)	売上高	展示商品	青果部門(新潟)	1月2月			9,000	930,001																		
									売内5																				
2011/01/01			鮮魚部門(新潟)	売上高	展示商品	青果部門(新潟)																							

絞り込み後の表示は、
これまで通り「表示」ボタンを
押下してください。

※画面はイメージのため、
実際のものとは異なる場合があります。

4-1. 月次棚卸対応 科目マスタ登録 例示データと設定 (2/2)

◆例示データと設定

①科目マスタ

期首商品棚卸高の棚卸区分 「期首」

仕入高の棚卸区分 「空欄」

期末商品棚卸高の棚卸区分 「期末」

②下記の例示データ：実績を基に、右記の仕訳が入力されている。

(例示データ：実績)

	月末商品棚卸高 (前年同月)	商品仕入高 (前年同月)
2016年12月	600,000 (50,000)	—
2017年1月	300,000 (200,000)	1,200,000 (700,000)
2017年2月	400,000 (300,000)	1,300,000 (600,000)
2017年3月	100,000 (250,000)	1,500,000 (1,000,000)
2017年4月	700,000 (150,000)	1,400,000 (900,000)
2017年5月	500,000 (100,000)	1,100,000 (500,000)
2017年6月	200,000 (180,000)	1,600,000 (800,000)

2017/1/31仕訳

(借方)期首商品棚卸高	600,000	(貸方)商品	600,000
(借方)商品	300,000	(貸方)期末商品棚卸高	300,000
(借方)仕入高	1,200,000	(貸方)買掛金	1,200,000

2017/2/28仕訳

(借方)期首商品棚卸高	300,000	(貸方)商品	300,000
(借方)商品	400,000	(貸方)期末商品棚卸高	400,000
(借方)仕入高	1,300,000	(貸方)買掛金	1,300,000

2017/3/31仕訳

(借方)期首商品棚卸高	400,000	(貸方)商品	400,000
(借方)商品	100,000	(貸方)期末商品棚卸高	100,000
(借方)仕入高	1,500,000	(貸方)買掛金	1,500,000

2017/4/30仕訳

(借方)期首商品棚卸高	100,000	(貸方)商品	100,000
(借方)商品	700,000	(貸方)期末商品棚卸高	700,000
(借方)仕入高	1,400,000	(貸方)買掛金	1,400,000

2017/5/31仕訳

(借方)期首商品棚卸高	700,000	(貸方)商品	700,000
(借方)商品	500,000	(貸方)期末商品棚卸高	500,000
(借方)仕入高	1,100,000	(貸方)買掛金	1,100,000

2017/6/30仕訳

(借方)期首商品棚卸高	500,000	(貸方)商品	500,000
(借方)商品	200,000	(貸方)期末商品棚卸高	200,000
(借方)仕入高	1,600,000	(貸方)買掛金	1,600,000

※画面はイメージのため、
実際のものとは異なる場合があります。

1. 合計残高試算表 (繰越の場合)

合計残高試算表

期間

決算仕訳
 含む 含まない のみ

2017年1月~12月

通 期
 月 3 月度 ~ 6 月度

税込で集計 税抜で集計

増減 繰越

棚卸表記方法
 残高 発生額

出力対象
 貸借対照表
 損益計算書 A3版

フレイッシュ(F6) 条件

棚卸表記方法 残高 (今までの表示)

サンプル_S(一般)達人 (決算仕訳を含む)

損益計算書 2017年03月 ~ 2017年06月

勘定科目/補助科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	対売上
4101 期首商品棚卸高	900,000	1,700,000	0	2,600,000	0.0
4103 仕入高	2,500,000	5,600,000	0	8,100,000	0.0
4113 期末商品棚卸高	700,000	0	1,500,000	2,200,000	0.0
[売上原価]	2,700,000	5,800,000	0	8,500,000	0.0

棚卸表記方法 発生額

サンプル_S(一般)達人 (決算仕訳を含む)

損益計算書 2017年06月

勘定科目/補助科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	対売上
4101 期首商品棚卸高	600,000	400,000	0	600,000	0.0
4103 仕入高	2,500,000	5,600,000	0	8,100,000	0.0
4113 期末商品棚卸高	400,000	0	200,000	200,000	0.0
[売上原価]	2,700,000	5,800,000	0	8,500,000	0.0

※画面はイメージのため、実際のものと異なる場合があります。

1. 合計残高試算表 (増減の場合)

合計残高試算表

期間

決算仕訳
 含む 含まない のみ

2017年1月～12月

通期
 月 3 月度 ~ 6 月度

税込で集計 税抜で集計

増減 繰越

棚卸表記方法
 残高 発生額

出力対象
 貸借対当表
 損益計算書 A3版

フリビュ(F8) 条件

棚卸表記方法 残高 (今までの表示)

合計残高試算表

サンプル_S(一般)達人 (決算仕訳を含む)

損益計算書 2017年03月 ~ 2017年06月

勘定科目/補助科目	借方金額	貸方金額	増減	残高	対売上(増減)
4101 期首商品棚卸高	1,700,000	0	1,700,000	2,600,000	0.0
4103 仕入高	5,600,000	0	5,600,000	8,100,000	0.0
4113 期末商品棚卸高	0	1,500,000	1,500,000	2,200,000	0.0
[売上原価]	5,800,000	0	5,800,000	8,500,000	0.0

取引先 なし 取引先別 取引先合算

棚卸表記方法 発生額

合計残高試算表

サンプル_S(一般)達人 (決算仕訳を含む)

損益計算書 2017年03月 ~ 2017年06月

勘定科目/補助科目	借方金額	貸方金額	増減	残高	対売上(増減)
4101 期首商品棚卸高	400,000	0	400,000	600,000	0.0
4103 仕入高	5,600,000	0	5,600,000	8,100,000	0.0
4113 期末商品棚卸高	0	200,000	200,000	200,000	0.0
[売上原価]	5,800,000	0	5,800,000	8,500,000	0.0

取引先 なし 取引先別 取引先合算

棚卸表記方法を追加します。

残高：残高を表示
 発生額：発生額を表示

指定期間の初月の発生額

計算結果

期首月の発生額

指定期間の末月の発生額

指定期間の末月の発生額

※画面はイメージのため、実際のものと異なる場合があります。

2. 前年同月対比表

前年同月対比表

期間

決算仕訳
 含む 含まない

2017年1月~12月

期首月からそろえる

通期

月 3月度 ~ 6月度

税込で集計 税抜で集計

円単位 千円単位

棚卸表記方法

残高 発生額

出力対象

貸借対照表

損益計算書

※ 画面はイメージのため、実際のものと異なる場合があります。

棚卸表記方法 残高
(今までの表示)

サンプル_S(一般) 達人
損益計算書

勘定科目	前期		当期		増減	
	金額	対売上	金額	対売上	対売上	金額
期首商品棚卸高	800,000	0.0	1,700,000	0.0	0.0	900,000
仕入高	3,200,000	0.0	5,600,000	0.0	0.0	2,400,000
期末商品棚卸高	680,000	0.0	1,500,000	0.0	0.0	820,000
[売上原価]	3,320,000	0.0	5,800,000	0.0	0.0	2,480,000

普通預金
 売掛金
 売上高

棚卸表記方法 発生額

サンプル_S(一般) 達人
損益計算書

勘定科目	前期		当期		増減	
	金額	対売上	金額	対売上	対売上	金額
期首商品棚卸高	300,000	0.0	400,000	0.0	0.0	100,000
仕入高	3,200,000	0.0	5,600,000	0.0	0.0	2,400,000
期末商品棚卸高	180,000	0.0	200,000	0.0	0.0	20,000
[売上原価]	3,320,000	0.0	5,800,000	0.0	0.0	2,480,000

棚卸表記方法を追加します。

残高：残高を表示
発生額：発生額を表示

指定期間の初月に対応する前期の発生額

指定期間の初月の発生額

計算結果

指定期間の末月に対応する前期の発生額

指定期間の末月の発生額

※画面はイメージのため、実際のものと異なる場合があります。

3. 月次残高推移表

月次残高推移表

期間

決算仕訳
 含む 含まない

2017年1月~12月

6 月度まで

税込で集計 税抜で集計

円単位 千円単位

棚卸表記方法
 残高 発生額

出力対象
 貸借対当表
 損益計算書
 発生額

棚卸表記方法を追加します。
 残高：残高を表示
 発生額：発生額を表示

プレビュー(F6) 条件リセット(F7) CSV出力(F8) ヘルプ(F1) 終了(F12)

月次残高推移表

サンプル_S(一般)達人
損益計算書

勘定科目	期間累計	01月	02月	03月	04月	05月	06月	07月
期首商品棚卸高	2,600,000 0.0	600,000	300,000	400,000	100,000	700,000	500,000	
仕入高	8,100,000 0.0	1,200,000	1,300,000	1,500,000	1,400,000	1,100,000	1,600,000	
期末商品棚卸高	2,200,000 0.0	300,000	400,000	100,000	700,000	500,000	200,000	
[売上原価]	8,500,000 0.0	1,500,000	1,200,000	1,800,000	800,000	1,300,000	1,900,000	

月次残高推移表

サンプル_S(一般)達人
損益計算書

勘定科目	期間累計	01月	02月	03月	04月	05月	06月	07月
期首商品棚卸高	600,000 0.0	600,000	300,000	400,000	100,000	700,000	500,000	
仕入高	8,100,000 0.0	1,200,000	1,300,000	1,500,000	1,400,000	1,100,000	1,600,000	
期末商品棚卸高	200,000 0.0	300,000	400,000	100,000	700,000	500,000	200,000	
[売上原価]	8,500,000 0.0	1,500,000	1,200,000	1,800,000	800,000	1,300,000	1,900,000	

期首月の発生額

指定期間の末月の発生額

※画面はイメージのため、
実際のものとは異なる場合があります。

4. 総合推移表

棚卸表記方法 残高
(今までの表示)

総合推移表

サンプル_S(一般)達人
損益計算書

勘定科目	当期(3~6月)		前期(3~6月)		増減額	前年比	(01月)	(02月)	03月	04月	05月	06月	07月
	金額	対売上	金額	対売上									
期首商品棚卸高	1,700	0.0	800	0.0	900	212.5	600	300	400	100	700	500	
仕入高	5,600	0.0	3,200	0.0	2,400	175.0	1,200	1,300	1,500	1,400	1,100	1,600	
期末商品棚卸高	1,500	0.0	680	0.0	820	220.6	300	400	100	700	500	200	
[売上原価]	5,800	0.0	3,320	0.0	2,480	174.7	1,500	1,200	1,800	800	1,300	1,900	

総合推移表

棚卸表記方法 発生額

期間: 2017年1月~12月
 決算仕訳: 含む
 期首月からそろえる
 通期: 月 3月度 ~ 6月度
 税込で集計 / 税抜で集計
 棚卸表記方法: 残高 発生額
 出力対象: 貸借対当表 損益計算書
 資産と負債・純資産で区分 コードを出力する

サンプル_S(一般)達人
損益計算書

勘定科目	当期(3~6月)		前期(3~6月)		増減額	前年比	(01月)	(02月)	03月	04月	05月	06月	07月
	金額	対売上	金額	対売上									
期首商品棚卸高	400	0.0	300	0.0	100	133.3	600	300	400	100	700	500	
仕入高	5,600	0.0	3,200	0.0	2,400	175.0	1,200	1,300	1,500	1,400	1,100	1,600	
期末商品棚卸高	200	0.0	180	0.0	20	111.1	300	400	100	700	500	200	
[売上原価]	5,800	0.0	3,320	0.0	2,480	174.7	1,500	1,200	1,800	800	1,300	1,900	

指定期間の初月の発生額
 指定期間の初月に対応する前期の発生額
 計算結果
 指定期間の末月の発生額
 指定期間の末月に対応する前期の発生額

「F12」(F8) 条件リセット(F7) CSV出力(F8) ヘルプ(F1) 終了(F12)

棚卸表記方法を追加します。

残高: 残高を表示
 発生額: 発生額を表示

※画面はイメージのため、
 実際のものとは異なる場合があります。

5. 部門実績比較表

部門実績比較表

期間
決算仕訳 含む 含まない
2017年1月～12月
 通期
 月 3 月度 ~ 6 月度
 税込で集計 税抜で集計
 円単位 千円単位

部門構成 全社

- 全社
 - 部門A
 - 部門B
 - 部門C
 - 部門A

棚卸表記方法
 残高 発生額

出力対象
 貸方
 借方

出力金額
 繰越・仕訳・残高あり
 全科目
 指定会計年度に金額あり
 資産と負債・純資産で区分

伝票ステータス
 全て(本伝+仮伝) 本伝のみ

プレビュー(F6) 条件リセット(F7) CSV出力(F8) ヘルプ(F1) 終了(F12)

棚卸表記方法 残高
(今までの表示)

サンプル_S(一般) 達人 損益計算書		部 門 実 績			
勘 定 科 目	部門A				
期首商品棚卸高	1,700,000				
仕入高	5,600,000				
期末商品棚卸高	1,500,000				
[売上原価]	5,800,000				

棚卸表記方法 発生額

サンプル_S(一般) 達人 損益計算書		部 門 実 績			
勘 定 科 目	部門A				
期首商品棚卸高	400,000				
仕入高	5,600,000				
期末商品棚卸高	200,000				
[売上原価]	5,800,000				

指定期間の初月の発生額

指定期間の末月の発生額

棚卸表記方法を追加します。

残高：残高を表示

発生額：発生額を表示

※画面はイメージのため、
実際のものと異なる場合があります。

4-2-6. 月次棚卸対応 予算登録 例示データと設定

◆例示データと設定

①下記の例示データ：実績を基に、下記のデータが入力されている。

(例示データ：予算)

	期首商品棚卸高	期末商品棚卸高	仕入高
2017年1月	100,000	100,000	1,000,000
2017年2月	100,000	100,000	1,000,000
2017年3月	100,000	100,000	1,000,000
2017年4月	100,000	100,000	1,000,000
2017年5月	100,000	100,000	1,000,000
2017年6月	100,000	100,000	1,000,000

予算登録 2017年1月～12月

年度	2017年1月～12月	パターン	パターン1	部門	部門A	表示	
科目	root	実績数値のセット				上期	下期
科目名	1月度	2月度	3月度	4月度	5月度	6月度	通年合計
期首商品棚卸高	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	600,000
期首製品棚卸高							
仕入高	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	6,000,000
その他仕入高							
仕入値引高							
仕入戻し高							
仕入割戻し高							
期中棚卸増減							
期末商品棚卸高	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	600,000

※画面はイメージのため、
実際のものとは異なる場合があります。

6. 予算実績対比表

予算実績対比表

期間
 決算仕訳 含む 含まない
 2017年1月~12月
 通期
 月 3 月度 ~ 6 月度

税込で集計 税抜で集計

円単位 千円単位

棚卸表記方法
 残高 発生額

出力対象
 貸借対照表
 損益計算書

フレイブビュー(F6) 条件レポート(F7)

棚卸表記方法 残高
(今までの表示)

サンプル_S(一般)達人
パターン1
損益計算書

勘定科目	予算		実績		子実差異		達成率
	金額	対売上	金額	対売上	金額	対売上	
期首商品棚卸高	400,000	0.0	1,700,000	0.0	1,300,000	0.0	425.0
仕入高	4,000,000	0.0	5,600,000	0.0	1,600,000	0.0	140.0
期末商品棚卸高	400,000	0.0	1,500,000	0.0	1,100,000	0.0	375.0
[売上原価]	4,000,000	0.0	5,800,000	0.0	1,800,000	0.0	145.0

棚卸表記方法 発生額

サンプル_S(一般)達人
パターン1
損益計算書

勘定科目	予算		実績		子実差異		達成率
	金額	対売上	金額	対売上	金額	対売上	
期首商品棚卸高	100,000	0.0	400,000	0.0	300,000	0.0	400.0
仕入高	4,000,000	0.0	5,600,000	0.0	1,600,000	0.0	140.0
期末商品棚卸高	100,000	0.0	200,000	0.0	100,000	0.0	200.0
[売上原価]	4,000,000	0.0	5,800,000	0.0	1,800,000	0.0	145.0

棚卸表記方法を追加します。

残高：残高を表示
発生額：発生額を表示

指定期間の初月

指定期間の初月の発生額

計算結果

指定期間の末月

指定期間の末月の発生額

※画面はイメージのため、
実際のものとは異なる場合があります。

1. 決算書印刷

決算書印刷

期間

2017年1月～12月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
上期						下期					
第1～3四半期						通期					

2017/01/01～2017/12/31 通期

1 月度 ～ 12 月度

税込で集計 税抜で集計

棚卸表記方法
 残高 発生額

部門別出力 全社

帳票
 全選択 勘定式 報告式

- 表紙
- 貸借対照表
- 損益計算書
- 製造原価報告書
- 販売費および一般管理費
- 株主資本等変動計算書
- 個別注記表
- キャッシュフロー計算書
- 注記（法人全体）
- 注記（拠点区分別）

株主資本等変動計算書 印字タ...
 株主資本等変動計算書

棚卸表記方法を追加します。

残高：残高を表示
発生額：発生額を表示

損益計算書、製造原価報告書のプレビュー表示の際、
棚卸区分が「期首」の科目は、期間指定の初月の発生額
棚卸区分が「期末」の科目は、期間指定の末月の発生額
を集計して表示する。

※画面はイメージのため、
実際のものとは異なる場合があります。

2. 2期比較決算書印刷

2期比較決算書印刷

期間

2017年1月～12月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
上期						下期					
第1～3四半期						通期					

2017/01/01～2017/12/31 通期

1 月度 ～ 12 月度

部門別に出力 全社

- 全社
 - 部門A
 - 部門B
 - 部門C
 - 部門A

帳票

全選択

- 貸借対照表
- 損益計算書
- 製造原価報告書
- 販売費および一般管理費
- キャッシュフロー計算書

税込で集計 税抜で集計 年度別の経理処

棚卸表記方法

残高 発生額

プレビュー(F6) 条件リセット(F7) ヘルプ(F1) 終了(F12)

棚卸表記方法を追加します。
残高：残高を表示
発生額：発生額を表示

損益計算書、製造原価報告書のプレビュー表示の際、
棚卸区分が「期首」の科目は、期間指定の初月の発生額
棚卸区分が「期末」の科目は、期間指定の末月の発生額
を集計して表示する。

※画面はイメージのため、
実際のものとは異なる場合があります。